

平成30事業年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1. 事業活動

(1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として13件23,500千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として1件1,500千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として17,000千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	平成30年度	平成29年度	対前年度比
研究開発助成等(表Ⅰ)	23,500	21,447	2,053
海外に対する普及協力及び国際交流等助成(表Ⅱ)	1,500	1,500	-
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	17,000	19,053	△ 2,053
合計	42,000	42,000	-

表Ⅰ 研究開発助成等

研究開発事業名	申請代表者	所属大学・職名
放送大学学生の学習環境改善に関する研究及び効果的な学生増加方策の検証について	岡田 光正	放送大学 副学長
タブレット端末とYouTubeを活用した簡易的授業補完映像副教材の作成とその効果測定(2-2)	井出 訓	放送大学 教授
遠隔「研究(指導)」実践過程の記述:放送大学大学院「研究指導」科目を対象に(3-2)	高橋秀明	放送大学 准教授
放送大学のオンライン科目で音声添削を行うためのシステム改良(3-3)	大橋理枝	放送大学 准教授
学生の映像視聴反応を利用した双方向型遠隔学習支援モバイルシステムの開発と運用(2-2)	芝崎順司	放送大学 教授
音声認識システムを活用したメディア教材の字幕化及び多言語化の研究(3-1)	広瀬洋子	放送大学 教授
Webキャストコンテンツのマルチデバイスアプリ開発に関する研究(3-1)	児玉晴男	放送大学 教授
博物館活用による遠隔教育の教材および教育システムの開発(2-1)	稲村哲也	放送大学 教授
通信制大学における障害学生のニーズに応じた修学支援に関するマニュアルの開発:合理的配慮の視点から(2-1)	野口久美子	八洲学園大学 教授
パソコンでの学習に適合した放送教材の音質とその改善の研究	仁科エミ	放送大学 教授
デジタルバッジを利用した生涯学習ポートフォリオの研究	山田恒夫	放送大学 教授
システム履歴に基づく教材改善要因の検討に関する研究	葉田善章	放送大学 准教授
オンライン授業科目の学修時間に関する調査研究	青木久美子	放送大学 教授

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
ブータン王立大学との国際交流協定に基づくオンライン科目共同制作を通じた放送大学教材のブータンへの普及・協力事業(3-3)	河合 明宣	放送大学 教授

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)
② 学生研修旅行への助成 (研修旅行に係るバス借上費等に係る経費の一部補助)
③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、平成30年度新刊本(63科目)112.0千部、既刊本296.9千部、合計408.8千部を頒布した。学園への納入部数は、学部327.2千部、大学院12.2千部の合計339.4千部で対前年度比3.1千部の増加、市販部数は学部62.3千部、大学院7.2千部の合計69.5千部で対前年度比11.1千部減少した。この結果、合計では、対前年度比8千部の減少となった。

(単位:部)

区 分	内 訳	平成30年度	平成29年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	327,195	326,255	940
	大学院	12,155	10,035	2,120
	計	339,350	336,290	3,060
市販部数	学部	62,279	70,759	△ 8,480
	大学院	7,211	9,787	△ 2,576
	計	69,490	80,546	△ 11,056
合 計		408,840	416,836	△ 7,996

(3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊420枚、既刊735枚の計1,155枚、特別講義については、既刊14枚で、合計1,169枚を複製・頒布した。新刊が大幅に増加(105枚⇒420枚)した結果、放送教材の複製頒布数は、対前年度比458枚増加の1,169枚となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	平成30年度	平成29年度	対前年度比
放送教材	授業科目	1,155	705	450
	特別講義	14	6	8
	計	1,169	711	458

2. 事業活動収支状況

(1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数は3千部増加したものの、市販部数が11千部減少したことにより対前年度比12,780千円減少の592,242千円となった。

一方印刷教材作成費は、新規開設科目数の減少(73科目⇒63科目)により対前年度比17,494千円減少の254,612千円となり、この結果収支は、対前年度比4,714千円増加の337,630千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	592,242	605,022	△ 12,780
印刷教材作成費	254,612	272,106	△ 17,494
収 支 ①	337,630	332,916	4,714

(2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、新刊の授業科目の頒布が大幅に増加したことにより、対前年度比4,751千円増加の13,047千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量の増加に伴い、対前年度比5,162千円増加の11,228千円となり、この結果収支は、対前年度比411千円減少の1,819千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	13,047	8,296	4,751
放送教材作成費	11,228	6,066	5,162
収 支 ②	1,819	2,230	△ 411

(3) 資産運用益等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用益等は、対前年度比44,399千円減少の32,327千円となった。(前年度は、税制改正に伴い売却した債券の売却益35,000千円、及び償還益3,594千円の計上があった。)

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
資産運用益	31,901	76,400	△ 44,499
その他雑収益等	426	326	100
計 ③	32,327	76,726	△ 44,399

(4) 助成事業・管理費等

助成事業は、前年度と同額。事業管理費支出については、対前年度比314千円の増加、管理費支出については、対前年度比418千円の減少となり、これらの支出の合計は、対前年度比104千円減少の366,085千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	-
事業管理費支出	289,339	289,025	314
管理費支出	34,746	35,164	△ 418
支出計 ④	366,085	366,189	△ 104

(5) 収支の状況

以上の結果、当期の経常増減額は、対前年度比39,991千円減少の5,692千円となった。

一方、当期一般正味財産増減額では、保有有価証券の時価評価額が8,760千円増加した一方、法人税等10,029千円を納付した結果、対前年度比3,376千円減少の4,423千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤ (①+②+③)	371,777	411,873	△ 40,096
助成事業・管理費等支出合計 (④)	366,085	366,189	△ 104
当期経常増減額 ⑥ (⑤-④)	5,692	45,683	△ 39,991
投資有価証券評価損益等 ⑦	8,760	△ 32,550	41,310
法人税等 ⑧	10,029	5,334	4,695
当期一般正味財産増減額 ((⑥+⑦)-⑧)	4,423	7,799	△ 3,376

3. 正味財産期末残高

上記の結果、平成30年度の正味財産期末残高は、2,868,303千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成30年度	平成29年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	2,868,303	2,863,880	4,423

4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と合致しないものがある。